



かわ せみ

令和3年12月17日

第30号

●発行●

三島市文化芸術協会

●事務所●

三島市産業文化部文化振興課内

TEL. 055-983-2756

加盟団体 41団体



目次

❖ 先の見えない中での市文協（粉山）..... 2	生活文化部.....9
❖ コロナ禍の中2回目の芸術祭（佐藤）..... 2	洋楽部.....9
❖ いけばな展とコロナ禍（斉藤）.....2	芸能部..... 10-11
❖ 和太鼓に触れ合い、次世代に継承（井澤）... 3	日本舞踊部..... 12-13
❖ 三島三曲の会（小野寺）.....3	邦楽部..... 14
❖ 令和3年市文協活動の軌跡 4-6	吟詠・詩舞部..... 15
❖ 話題（topic）.....7	演劇部..... 15
❖ 部会 information	❖ 話芸の夕べ（藤間）..... 16
ギャラリー部.....8	❖ 令和3年度市文協の主な行事..... 16

先の見えない中での市文協

会長 初山宗源

一年の延期を経て、なおかつ緊急事態宣言下で開催された「東京2020」。無観客・自宅観戦にも拘わらず日本人選手の活躍でお茶の間は一時の高揚観に包まれました。大リーグでは二刀流の大谷選手による「ショータイム」に私たちの気持ちを明るくしてくれました。

本年三島市は市制施行八〇周年の記念の年でありましたが、四月の式典は十一月に延期され、数ある冠事業は少々寂しいものになってしまいました。

私たちの活動も緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令される中、昨年に続き制約されました。集団でのレッスンができない団体や多人数の集まりが難しい団体等思うような活動ができませんでした。農兵節パレードは今年も中止を余儀なくされ、八月の三島は寂しさに包まれました。

そのような中、秋に計画の二つの事業は、実行に向けしつかりとした計画をたて、万への備えをしながらその歩を進めました。両事業とも計画段階で開催が危ぶまれる時期もありました。



は、広々とした空間での生け花に癒され安らぎを感じたとか、コロナ禍での久しぶりのいけばな展が鑑賞出来て良かった等と好評でした。

コロナ禍は世に恐怖を撒き散らし、自粛が萎縮になりがちでしたが、日々の生活を明るくするには、先ず行動を起こさねばなりません。熟慮をしながら「やってみよう、何んとかなるさ！」この心意気が必要です。いけばな展は、こんな事を再認識させてくれた場所でした。これからも共に楽しく歩んで参りましょう。

和太鼓に触れ合い、次世代に継承

静岡県太鼓連盟 副会長
中島八坂太鼓 顧問

井澤豊史

太鼓の歴史は古く、縄文時代のころから日本に存在していたと言われています。

日本の伝統文化である和太鼓は、礼に始まり礼に終わります。

挨拶の仕方や目上の人への接し方といった礼儀作法を、レッスンの中でしっかりと教えてもらえる点がメリットです。

自宅や学校以外の場所で、厳しく

市民芸術祭は十月七日のオープニングセレモニーに始まり、三週間にわたる展示部門、続いて四日間の舞台部門の発表が行われました。私たちの心配を払拭する盛り上がりでクロージングを迎えることができました。十一月二十五日の話の夕べも、入場制限を行ったうえで開催しました。

今後多くの障害が私たちの活動の妨げになる事態が予想されます。市文協の仲間と共に常に情報の共有をはかり、前進していくことを切に願います。

「コロナ禍の中二回目の芸術祭

芸術祭実行委員長 佐藤眞吾

昨年度から、新型コロナウイルスが全世界に広まった今年でした。感染者が増大し、芸術祭もできるかどうか少々迷いはありました。しかし、昨年の経験もありましたので、芸術祭実行委員会は話し合いを行い、コロナ対策を十分行うことで実施することに決定しました。九月に緊急事態宣言もあり、練習等で心配されることもありましたが。

いろいろなことがある中で、会員・団体・部会の皆様は頑張ってください。練習場所、練習時間等をどう確保するかを、みんなで工夫しこの芸術祭

礼儀作法を覚えてもらえる場所があるというのは、保護者にとっても非常にありがたいですよ。

和太鼓の演奏は、体幹を鍛える効果があり、お子さまの健康的な体づくりに役立ちます。また、演奏する中で正しい姿勢が身につく点もポイントです。

和太鼓は団体演奏が基本であるため、仲間たちと音を合わせることで協調性を身につけられます。

自分だけが上手に叩ければいいというだけでなく、全体としてのよさにすればいい演奏ができるかといったことを考えたり、困難を感じている仲間をフォローしたりという力が身につくでしょう。

和太鼓にふれることによって、日本の伝統文化に対する知識や理解が深まります。

最近では、国際的に日本文化を紹介する場に立つ機会も増えてきていますが、そうしたときに、和太鼓を会話のきっかけにして、日本文化を紹介できるでしょう。

演奏そのものだけでなく、和太鼓を叩く「和」の心を伝えられるようになる点もポイントです。また、伝統文化を伝える機会にあまり恵まれないという場合でも、地域のお祭りなどをより楽しめるようになるというメリットがあります。



術祭に取り組んでくださいました。

特に、今年度のテーマは「感動と共に……」明るい明日を求めながら一としました。芸術祭への取り組みは、「一生懸命やるのが感動を与える」、その成果をみてもらうことを皆さんにお願いしました。目標は、見事に皆さんが現してくださいました。

展示部門も、いろいろな工夫（作品の出品数、レイアウト、新人の登用等）、をしてくださいました。それぞれ力作をたくさん出品してください、参観者からお褒めの言葉をいただきました。また、多くの方の参観者においていただいたのはありがたいことでした。

舞台部門では、どの舞台も一生懸命取り組んでいる様子が随所に現れ、素晴らしい舞台を作り上げてくださいました。非常に細かい計画を立て、舞台に取り組んでくださいました。洋楽部会では、コロナ禍で練習会場の確保ができなかったり、声を出すことも鑑みたり、練習時間の確保ができなかったりして、合唱

三島三曲の会

小野寺 絢山

今年、三島三曲の会は大きな決断をいたしました。

これまで箏の社中と三島尺八同好会として市文協に参加させていただきましたが、まず三島尺八同好会の解散という事態になり市文協からの退会が決まりました。

つぎに箏の社中単位で市文協の活動に参加し続けることに限界が来ているとの判断から一度市文協を退会し三島三曲の会として参加させていただくことに決まりました。

以前より三島三曲の会の名前は皆様に広くご理解いただけておりましたが総会を経て新たにお仲間とさせていただきます。

三島三曲の会となり実は今までの市文協活動に参加していなかった社中の方々も参加できるようになりました。その点は非常に良かったと思っています。

特に芸術祭の舞台で同じ三島三曲の会会員でありながら社中登録が出来ずに参加できなかった方々が参加できるようになったのは会の活動に一本芯が通ったものとなりました。

実は以前は三島三曲の会の行事決定の際、市文協事業は賛助的なもの

が参加できなかったことは残念でした。

参加した部会の皆さんは、それぞれ満足感に浸ることもできました。「やってよかった」「いい芸術祭ができた」等々、喜びの言葉がでてうれしかったです。

昨年に引き続きコロナ禍の中で、芸術祭をやり遂げられたことに感謝申し上げます。今後も三島の芸術祭の質もさらに高め、皆様からも「よくやっている。」「素晴らしい芸術祭だ。」といわれるようなものを作り上げていきたいと思います。

いけばな展とコロナ禍

前市文協会長 斉藤静雄

恒例のいけばな展は、コロナ禍により昨年は中止となり、今年も各地のいけばな展が中止との情報の中で、どうしたら開催出来るか役員で種々話し合いの結果、開催を不安視する意見もあったが、兎に角「やってみよう」と言う事になった。先ず三密を避ける為に、会場内は仕切りず広く利用し、展示の台も出来るだけ簡素化し、会員には、いけばな時に少人数でいける様に依頼した。お客様の対応策は、他の展示会を参考に準備を行った。

いけばな展が始まり、来客の反応で主体的に参加するものではありませんでした。

この度、三島三曲の会が市文協に正式参加となったことで市文協事業は三島三曲の会の事業計画にはつきり載せることができました。会員の減少や高齢化による活動の縮小などまだまだ問題は山積みです。

また、十月三十一日には三島三曲の会事務局であるやまがた楽器様がもらい火により火災にあわれましました。山形先生はじめご家族の方には改めてご同情申し上げます。また、三島三曲の会の先輩方より今まで残してきた貴重な資料も喪失してしまいました。

パンフレットやテープなどの音源、写真や会議資料などです。三島三曲の会会員の中には一部資料を持っている方がいるかもしれませんがすべてそろえることは出来なと思います。

そんな中、三島三曲の会発表会を一月二十三日に予定しています。

関係者のみの観覧ですが演奏者はコロナ禍で演奏会が開催できないなかでも練習に励んできました。よき発表会になることを期待しています。

令和3年市文協

活動の軌跡



司会を山形さん、議長には村上さん、書記は水口さんをお願いし議事を進めました。



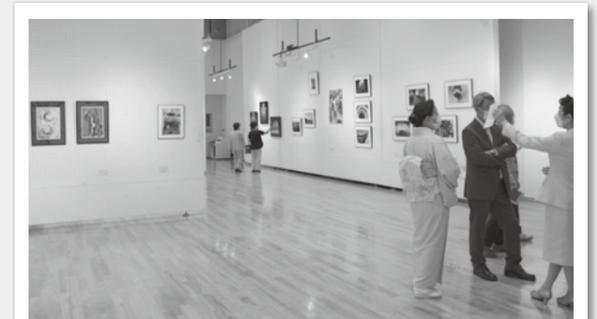
4月23日総会



10月7日 芸術祭オープニングセレモニー



10月7日～10日



10月7日～10日

総会

芸術祭 生け花・写真展

芸術祭 写真展



芸術祭 美術展



10月14日～17日

芸術祭 書道展



10月21日～24日



芸術祭 洋楽



10月31日



芸術祭 日本舞踊



11月6日

芸術祭 邦楽・吟詠詩舞



11月7日

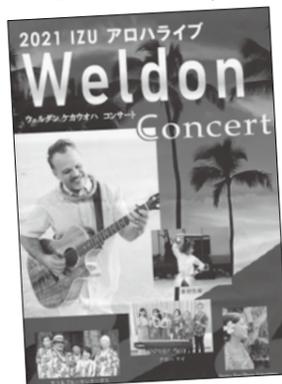


話題 topic 記念行事の紹介

IZU アロハライブ Weldon Concert を開催

10月9日ゆうゆうホール大ホールにて、コロナ禍でお客様を関係者150人限定としたスペシャルなフラダンスイベントを開催しました。

昨年9月に「Weldon Concert」を計画しましたがコロナ禍で延期になり、さらに今年9月25日に予定をしていたのが緊急事態宣言で会場が使用できず断念しましたが、フラダンサーやお客様の「Weldonの歌を聞きたい・Weldonの演奏で踊りたい」との熱い思いを受け、ゆうゆうホール大ホールにて開催することとしました。



ゲストのWeldon Kekauohaはハワイのグラミー賞である「ナ・ホク・ハノハノ・アワード」で最優秀賞受賞しダンサー達に愛され大人気のハワイを代表するミュージシャンです。

ゲストのWeldon Kekauohaはハワイのグラミー賞である「ナ・ホク・ハノハノ・アワード」で最優秀賞受賞しダンサー達に愛され大人気のハワイを代表するミュージシャンです。

Weldonとの共演を楽しみにしていた三島のフラ団体等約40人が笑顔絶やさず、しなやかな踊りで南国ムードが会場いっぱいにあふれお客様の大きな拍手を頂きました。

開催日・会場変更で沢山の皆様のおかげで頂き開催出来た事は本当に感謝いたします。

次回は、お客様を会場いっぱいにしてWeldonの優しい歌声をお届けしたいと考えています。

Hālau Hula O Makalea 杉山 むつ美

初演《楽寿園の詩》

藤岡武雄作詞・渋谷澤光作曲の叙事詩を、楽寿館



と三島市民文化会館にて、令和3年10月29日金曜日に初演致しました。樹々の梢がほんのり紅葉し始め、風のない穏やかな菊まつり前日、小浜池の水も湛えられ、とても美しい日に演奏できましたことは、大変に幸せなことでした。梅御殿に特別展示致しました李方子妃殿下の三島茶碗は、茶色の珍しい色で、本職が作ったかのような素晴らしさ。30名の方がご見学に訪れ、11名のお客様がお食事を楽しんで下さい

梅御殿に特別展示致しました李方子妃殿下の三島茶碗は、茶色の珍しい色で、本職が作ったかのような素晴らしさ。30名の方がご見学に訪れ、11名のお客様がお食事を楽しんで下さい

ました。

小ホールの催しは3部構成で開催。150名のお客様にお話しと歌を楽しんで頂きました。

第1部 桜井 蕪山高校現役校長の実体験に基づく講演会・第2部 バリトン月野進氏とソプラノ守尾由季乃先生の音楽会・第3部は藤岡武雄先生にもご登壇頂き出演者とお客様参加型での対談を致しました。

山形 真由美

第35回 定期演奏会を開催

三島市民吹奏楽団(愛称:三吹・さんすい)は、昭和60年に三島市及び近隣地域の吹奏楽を愛する高校生・社会人によって設立された吹奏楽団体です。現在も約40名の団員が在籍し、定期演奏会開催に向けた練習の他、積極的に地域の行事に参加して、地域音楽振興発展を目指しています。

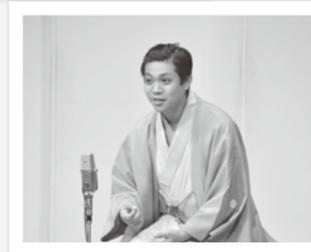
昨年より思うように練習ができない時期が続きましたが、令和3年9月より本格的に練習を再開し、三島市民芸術祭や中郷文化プラザまつりへの参加、そして令和3年11月7日には節目となる第35回定期演奏会を開催することができました。再び舞台上立ち、お客様の前で演奏する喜びを団員一同かみしめながら演奏することができました。

三吹では、一緒に活動してくれる仲間を随時募集しています。一緒に吹奏楽を楽しみませんか?毎週日曜日、三島市内の小学校に音楽が好きな仲間が集まり、演奏会等に向けて合奏練習をしています。ホームページやフェイスブックでも活動を紹介しておりますのでお気軽にお問い合わせください。

佐久間 信俊



11月25日



芸術祭 芸能



11月14日



話芸の夕べ 柳家花緑・緑助



芸術祭 芸能

ギャラリー部

佐野美術館友の会 三島美術協会
新興岳南書作家協会 三島書作家協会
サンズフォトクラブ

三島書作家協会
新興岳南書作家協会

久保田 山吹

三島書作家協会と新興岳南書作家協会はここ二年ほど合同での展覧会を開催してきましたが、コロナ対策の為に、令和三年度は三島書作家協会展を令和三年四月に、新春書道展は令和四年二月に開催することになりました。新興岳南書作家協会主催の新春書道展は今回は第七〇回を数えます。新春書道展は子どもたちの書き初め展で、優秀作品には市長賞をはじめ七つの賞（文化芸術協会賞も）が授与され、表彰式での子どもの晴れやかな顔はほほえましいものがあります。

しかしながら現在の社会情勢の課題に直面しており少子化と指導者の高齢化は頭の痛い問題です。三島書作家協会の方も会員の高齢化は進んでおりいかに存続を詰っていかかを検討しなければならぬと感じています。



ただ、嘆いているばかりでは何も解決しないことは明白です。「継続は力なり」ということで人数は減少するでしょうが、仕事に学業に忙しいなかそれでも書道が続けている若い人たちがいてくれることも事実です。その人たちにバトンを渡すまでは今の人たちが頑張っていかなければなりません。元気出していきましょう。

サンズフォトクラブ

村上 益男

今年もコロナ禍の影響で十分な活動は行えませんでした。毎年三月末に開催する日本画、洋画、墨絵、陶芸四部合同の「友の会作品展」は中止しました。また、九月の「作品展」も中止しました。また、八月の洋画部「ヌードデッサン会」も中止しました。しかし、陶芸部の「陶芸作品展」は四月初旬に予定通り開催、洋画部の「遊彩展」は三月の予定を延期して九月に開催することができました。

九月までは各部の教室も予定通りに開けられましたが、幸いなことに十月以降はコロナ感染状況が収まってきましたので、教室は予定通りに開かれています。

来年の二月には「友の会作品展」の予定があり、現在、会員は学習と創作に励んでいます。



今年もコロナ禍の影響で十分な活動は行えませんでした。毎年三月末に開催する日本画、洋画、墨絵、陶芸四部合同の「友の会作品展」は中止しました。また、九月の「作品展」も中止しました。しかし、陶芸部の「陶芸作品展」は四月初旬に予定通り開催、洋画部の「遊彩展」は三月の予定を延期して九月に開催することができました。

佐野美術館友の会

中島 良和

今年もコロナ禍の影響で十分な活動は行えませんでした。毎年三月末に開催する日本画、洋画、墨絵、陶芸四部合同の「友の会作品展」は中止しました。また、九月の「作品展」も中止しました。しかし、陶芸部の「陶芸作品展」は四月初旬に予定通り開催、洋画部の「遊彩展」は三月の予定を延期して九月に開催することができました。

今年もコロナ禍の影響で十分な活動は行えませんでした。毎年三月末に開催する日本画、洋画、墨絵、陶芸四部合同の「友の会作品展」は中止しました。また、九月の「作品展」も中止しました。しかし、陶芸部の「陶芸作品展」は四月初旬に予定通り開催、洋画部の「遊彩展」は三月の予定を延期して九月に開催することができました。



今年もコロナにより中止としました。なかなか展覧会が開催出来ないなかで、秋の芸術祭美術展が無事に開催出来たことは私共会員にとっても大変喜ばしく展覧会の重要性をあらためて実感するものでした。今回の展覧会の内容は、油彩、水彩、アクリル、パステル、日本画、工芸、彫刻とジャンルも広く、大作から小品まで二十二人の会員の作品六十六点を展示しました。会期は、十月十四日（木）～十月十七日（日）の四日間、四〇九名の方に来場いただきました。多くの方に見てもらい喜んでいただけたことは大変有難く、今後の制作の励みになりました。

三島美術協会

福地 孝行

今年もコロナにより中止としました。なかなか展覧会が開催出来ないなかで、秋の芸術祭美術展が無事に開催出来たことは私共会員にとっても大変喜ばしく展覧会の重要性をあらためて実感するものでした。今回の展覧会の内容は、油彩、水彩、アクリル、パステル、日本画、工芸、彫刻とジャンルも広く、大作から小品まで二十二人の会員の作品六十六点を展示しました。会期は、十月十四日（木）～十月十七日（日）の四日間、四〇九名の方に来場いただきました。多くの方に見てもらい喜んでいただけたことは大変有難く、今後の制作の励みになりました。

生活文化部

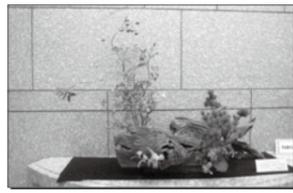
三島市華道連盟 三島市茶道連盟
三島フリーフライトクラブ

「三島華道連盟」は「いけばな展」のコロナ感染対策を如何にするか、四月頃から役員会にて話し合いました。

- 一、展示会場の仕切をやめる
- 二、テーブルカバーをやめ養生シートにする
- 三、役員を二部に分けて出席する



なるべく密を避け、消毒を小まめにしました。一目で見渡せる会場に観客も明るいと感じました。会員はそれぞれ器、花材を工夫し、力作となりました。実施出来まして来年に繋がることでしょうか。また十一月三日の市制八十周年記念式典では文化会館の壇上の花を制作致しました。梅擬き、八重の紅白の百合を主に活け、皆様にお祝いの気持ちを感じていただけたと思います。



生涯学習センターロビーの迎え花（いけばな展）

「三島茶道連盟」はコロナ禍の中でありましたが、三月の連盟茶会のほか四月、十二月と予定通りに開催されました。恒例の学習旅行は状況を鑑みて今年は見合わせとなりました。

第38回連盟茶会 煎茶弘風流席

「三島フリーフライトクラブ」はコロナ禍の為練習場の確保が困難であり、また活動できませんでしたがクラブ連絡会の秋季競技会は無事開催でき好成绩をあげました。



第38回連盟茶会 裏千家席



洋楽部

三島市民吹奏楽団 白道ユニオナルト
三島市合唱協議会 三島ジュニアオーケストラ
Remyの会 ピアノ音楽研究会

三島どんぐり合唱団 縣 政 四

今回は、三島市合唱協議会をご紹介します。三島市合唱協議会は昭和44年に結成され、52年の歴史を持っています。毎年の市民合唱祭の企画運営などを主な活動としています。会長は、青木不二子（コール・ロベリア指導者）です。加盟団体は、下記の10団体です。（市内の合唱団の加盟をお待ちしております）

合唱団	指導者	練習日、時間、会場
コール・ロベリア(女声)	青木 不二子	毎週金曜日 9:30～12:00 生セ、坂公民館
伊豆新世紀合唱団(混声)	早川 由章	毎週金曜日 18:45～20:45 文化会館 or 生セ
混声合唱団みしま(混声)	小屋敷 真	毎月第1,3水曜日 18:30～20:45 生セ
コンチェルトゼフィロ(混声)	市川 行洋	毎週土曜日 18:30～21:15 長泉南部地区センター
コール・アンダンテ(女声)	高橋 孝	毎週月曜日 19:30～21:00 三島市若松町
三島グロリア合唱団(混声)	八尋 和美	毎週木曜日 19:00～21:00 文化会館 or 生セ
北上公民館クール・クレール(女声)	佐藤 みどり	毎月第1,3木曜日 10:00～12:00 北上プラザ
三島少年少女合唱隊(児童)	嘉者熊 真弓	毎週土曜日 17:00～19:00 北小学校
三島市中央女性学級(女声)	月野 義識	毎月第2,4木曜日午前中 生セ
三島どんぐり合唱団(混声)	縣 政 四	毎月火金各2回(13:30～,19:00～) 文化会館

緊急事態宣言は解除されましたが、それまでの期間、練習会場が確保できず芸術祭は辞退しました。例年各団は、市合唱祭・芸術祭、県・東部合唱祭、独自の演奏会、福祉施設訪問、学校訪問、コンクール参加等いろいろな活動をしています。また、各団とも入団者の募集をしています。歌の好きな方をお待ちしています。（連絡先はホームページ等）

芸能部

粹翔流鳳艶会 Hāla Hula O Makalea
 静岡県民謡協会 千丈民謡会 寿鈴会
 静岡睦実会 溪聲会 中島八坂太鼓保存会

芸能部門は「和太鼓」「民謡」「舞踊」「フラダンス」と、バラエティがあり、お客様に大変喜んで頂いております。これからも応援を宜しくお願い致します。

『感動を共に』 第59回芸術祭!



今年もまた、コロナの影響で活動が大幅に制限されることとなりました。その様な中、少しでも活動ができていた我々は幸せなのかも知れません。太鼓の魅力は、「響き」「リズム」「躍動感」。これを表現し、皆に感動を与える太鼓を目指していきます。



令和3年の芸術祭はコロナを考慮して、不参加としました。しかし、この期間は、私達の芸を見つめるよい機会となりました。会主は、80歳を過ぎて運動機能は衰えたが、尺八に必要な丹田呼吸は、鍛錬により向上し持久力や音色も今まで以上に成長したと感じます。尺八は力まかせに吹く楽器でないことも再認識しました。人生100年時代を健康で楽しく生きるための道具と、改めて感じています。

部会 information



今年の新茶の香る季節に静岡県の民謡「ちゃっきり節」の愛唱者による「日本一全国大会」は、コロナ感染防止の為に、昨年に引き続き2年間開催中止となりました。第33回大会は令和4年6月4日(土)に開催を予定しております。静岡県民謡協会第45回大会、10月24日(日)、静岡市北部生涯学習センターにて開催しました。



Aloha! フラは物語をつむぐように五感で表現する素晴らしいハワイの踊りの芸術です。私達はフラを通してハワイの心、アロハの心を伝えていきたいとレッスンしています。現在、悲しい時代ではありますが、多くの皆様にフラで心を癒し楽しんでいただけるように、これからも活動します。Mahalo!



寿鈴会は、50代から70代の会員で構成されており、親の健康が心配される年代です。今回の芸術祭の練習もままならず、参加人員が減りました。介護の中、ストレスのたまる時、お稽古に来ると一時的でもリフレッシュできる...と。趣味を持つことの意味を今更乍ら感じております。



今回の芸術祭は、舞踊4題です。特に「福寿の舞」は3名で年齢あわせて260才となり、高齢で元気で舞う姿からお岩様に励みと頑張る気力を与えられ大変盛り上がりました。「イヨマンテの夜」の3人振り動きが激しく意気を合わせて華やかに踊る事が出来ました。「一心」と「大忠臣蔵」は男性で迫力ある踊りを披露する事が出来ました。ただ、観客が少なく多くの方に見て頂く事が出来ず残念でした。



コロナ禍で日常、普通に行われた事ができないことを経験し、一緒に稽古でき発表の場があること、人との関わりが大切であることを痛切に感じた一年でした。日本古来の民謡を絶やすことのないよう、若い人にも心に響くような唄声、音色、リズムを身近に感じられるよう、新しい曲を取り入れ、普及活動に努めていきます。



私達「静岡睦実会」は、東北の民謡とくに秋田の民謡の三味線と唄を本場秋田県の「睦実会宗家」佐々木先生に直接ご指導を頂いて居ります。三味線や唄が大好きな人達で長いお付き合いです。皆様に感動し喜んで頂き、私達も若さを維持しています。ふるりの民謡を三味線に合わせて歌ってみませんか。お待ちしております。

日本舞踊部

藤間流 伊世藤会 勤伊世社中 藤間流 伊世藤会 伊世之社中
 花柳流 美翠会 正派若柳流 芙柳会 坂東流 三河和会
 花月流 八千代会 花柳流 三島樹の会

正派若柳流 芙柳会 会主 若柳千勲

今年もコロナの中でしたが、「お舞初め」「勉強会」と昨年の経験を教訓にして無事に開催する事ができました。子供のお稽古も再開して、いつも通りの日々がもどりつつあり、気を付けながらも普通に過ごせる事の幸せを感謝致しました。芸術祭、文化祭が中止と聞く中で役員の方々のご苦勞で「三島市民芸術祭」が開催でき発表の場をいただけた事に感謝致します。



藤間流 伊世藤会 勤伊世社中 会主 藤間勤伊世

毎年恒例の踊り初め開催・国立劇場の舞踊公演に出演・昨年は中止となった浴衣ざらいも本年は開催出来ました。また芸術祭に参加し昨年より活動の出来る年でした。

1日も早くコロナが収束し、思い切りお稽古を楽しみたいと願う日々です。

HP <http://isefujikai.sakura.ne.jp/>

花柳流 美翠会 会主 花柳尋美翠

相変わらず、講習会等が中止になり、お稽古も窮屈な状態が続いていますが、芸術祭に参加でき良かったです。師匠のお復い会にも美翠会で出演させていただき、勉強させていただきました。外部との交流は出来ませんが、しっかりお稽古をして基本を身に付けていきたいと思ひます。

舞踊会もリモートでなく開催されるようになり、日常が戻りつつあります。日本舞踊を子供達にも広め、伝統を受け継いでいきたいと思ひます。



坂東流 三可和会 会主 坂東三可和

今年度は十分なお稽古が出来ませんでした。

今年もコロナ対策をしっかりと行い、無事に芸術祭が開催出来ました。これも関係各位のご協力により行えた事を、感謝いたします。お客様もたくさんお出で下さり、検温や消毒、住所の記入等スムーズになり、受付の混乱もなく、良かったです。マスク生活もすっかり慣れて、舞台から見ます客席にも違和感がなくなりました。

演目が少なかったり、出演者の体調不良、お稽古場の事情だったり、それぞれ課題がありますが、日本舞踊部会で力を合わせ、頑張っていきます。これからも益々結束し、盛り上げていきたいと思ひます。

日本舞踊部 花柳尋美翠



花月流 八千代会 会主 花月乙千寿

今年は、コロナウイルス感染対策でワクチン接種も進み、緊急事態宣言も解除となって昨年とは違う、少し先に明るさが見えた芸術祭のように思いました。

今回は会主の花月乙千寿が、「中村流八代目家元 中村梅彌師による日本舞踊無料こども体験教室」の行事と重なり、傍に付いていることができず心配ではありましたが、出演者と後見を勤める3人が力を合わせ舞台を勤めあげる事を信じ、任せる事にしました。

お客様の声援を頂きながら3名が序幕を無事勤め終わったと聞いた時は、お疲れ様という思いと同時に胸にこみあげるのを感じました。

これも日本舞踊部の先生方やスタッフ等の方々温かく見守って下さったおかげと感謝し、よい思い出となる芸術祭になりました。



常磐津 夕月船頭



長唄 雨の五郎

藤間流 伊世藤会 伊世之社中 会主 藤間伊世之

- 1月 毎年恒例の踊り初め開催
- 4月 国立大劇場にて開催された舞踊公演に出演
- 5月 静岡にて開催された舞踊公演に賛助出演
- 8月 恒例の浴衣ざらい開催
- 11月 芸術祭に出演
- 11月 岡山にて開催された舞踊公演に賛助出演

本年もコロナの影響で延期や中止になった公演がいくつかありました。

しかしながら、昨年より舞台は動きまし、お稽古も感染防止対策をしっかりととりながら出来ました。

来年はコロナが収束して元の生活に戻れます様、願っております。 HP <http://isefujikai.sakura.ne.jp/>



花柳流 三島樹の会 代表 花柳多美樹房

コロナ禍の為、人々の交流に制限があり、三島、長岡、大仁や他市との交流が密にある樹の会は、今年の芸術祭をお休みさせていただきました。観客として各流派の踊りを拝見できて、改めてこの行事の大切さと三島舞踊界の芸術の高さに感動致しました。お仲間になれている事に感謝致しております。



吟詠・詩舞部

岳心流三島愛吟国風会 三嶋大社崇敬会詩吟クラブ 心超流三島朗吟会
琇峰流沼津吟詠会三島 詩舞星舟流星舟会



岳心流三島愛吟国風会



三嶋大社崇敬会詩吟クラブ



心超流三島朗吟会

琇峰流 沼津吟詠会三島

今年、コロナも下火になり、二年ぶりに、芸術祭に参加することができました。声を出す舞台なので、飛沫飛散を気にしましたが、感染者も発生せず、良かったと思えました。二年前は、詩舞星舟会の皆さんは、別の舞台と重なり、不参加でした。今年、詩舞の皆さんも参加して、賑やかな舞台になりました。ただ、琇峰流の皆さんは、沼津市の芸術祭と重なり、三島には不参加となり、残念でした。

吟詠詩舞部会

馬場 凌心

詩舞星舟流星舟会



演劇部



伊豆市民劇場 第388回例会『怪談 牡丹燈籠』(文学座)

演劇部会は、上演団体と鑑賞団体が集まった部会です。三団体とも演劇の楽しさ・素晴らしさを広げていきたいと長く活動を続けています。伊豆市民劇場と三島おやこ劇場は、コロナ禍の中でも会員みんなで例会を一つずつ大事に迎えました。デジタル時代となり、ネット動画ではドラマや映画など観たいときに観られるようになってきましたが、私たちはあえて「生の舞台」にこだわります。生の舞台でしか感じられない感動がそこにはあります。舞台上の役者たちの声・音楽はスピーカーを通してではなく、



三島おやこ劇場 第353回例会『3びきのこぶた』(人形劇団ひとみ座)

ダイレクトに心に響いてくるからです。そして、演劇には非日常のワクワクドキドキがあります。シアター万華鏡は、前回の市民演劇祭が中止になったため残念ながら上演はできませんでしたが、年明け二月開催予定の演劇祭は出演予定ですので、みなさんどうぞ観に来ててください！

邦楽部

山田流箏曲路の会 三島三曲の会
長唄 彩 音 会 長唄 佳きつどひ



来年は一月二十三日に延期になった発表会を実施予定です。コロナに負けないように張り切っていきます。



三島三曲の会

小野寺 絢山

箏・尺八・三絃の演奏を通じて個人の研鑽演奏活動に取り組んできました私達「三島三曲の会」ですが、今年もコロナ禍で次々と行事が実施できない状況になりました。八月の三島大社奉納演奏と市民芸術祭だけは何とか参加することができました。当初九月に実施予定だった発表会は緊急事態宣言を受け、練習会場の貸し出しができなくなり延期となりました。

彩音会・佳きつどひ

杵屋 勝一葉

今年も依然としてコロナ禍による自粛規制のかかる中、五十九回芸術祭は無事開催されました。東京の杵屋会定期演奏会も全員黒マスクを付けて舞台を務めました。今回は小学生が初めての三味線演奏。本人はどっこも不安といながらもちゃんと演奏できました。大人組は昭和四十二年に初演奏された、池田弥三郎作詞、山田抄太郎作曲による「雨の四季」に挑戦しました。今までの長唄の定型とはまったく違うので、真剣に稽古に取り組ましました。無事終了後も何日か、頭の中を曲がぐるぐる回っていました。今年の芸術祭のスローガンのように皆様と感動を分けあえたでしょうか。



伝統文化芸能。世間に広く認めていただき、伝え、広める活動を地道にやっけて行こう、毎年の芸術祭のスローガンを楽しく考えよう。と思い、来年に思いを馳せております。



「話芸の夕べ」

藤間伊世之

昨年のピリピリとした環境下での話芸の夕べ、本年も同様、感染防止対策に細心の注意を払って開催致しました。入場時には、お客様もソーシャルディスタンスをしっかりと取り行動され、席も間隔を取って座られました。スムーズに進む検温、手指消毒、これらが今は日常になっているという事を改めて痛感致しました。

コロナ禍での開催には不安も多くありましたが、継続する必要性を強く訴えられた方々の思いを受け、常任幹事の皆様の大きなお力添えで無事開催でき、目標に向かって一丸となって進む意義を今年もまた感じました。

花緑師匠の相変わらず巧みな話術に落語の魅力を十分に堪能され、日常を忘れ、大いにお楽しみいただけた話芸の夕べであったと思います。



令和四年度芸術祭の日程	いけばな展	10月6日(木)～9日(日)
	写真展	10月6日(木)～9日(日)
	美術展	10月13日(木)～16日(日)
	書道展	10月20日(木)～23日(日)
	邦楽・吟詠	10月8日(土)
	日本舞踊	10月9日(日)
	芸能	10月16日(日)
	洋楽	11月13日(日)

令和三年度市文協の主な行事

- 4月9日 常任幹事会
- 23日 総会
- 5月9日 常任幹事会
- 6月11日 常任幹事会
- 25日 幹事会
- 7月9日 常任幹事会
- 8月13日 常任幹事会
- 27日 幹事会
- 9月10日 常任幹事会
- 10月8日 常任幹事会
- 22日 幹事会
- 11月12日 常任幹事会
- 12月10日 常任幹事会
- 12月17日 幹事会

- 1月14日 常任幹事会
- 2月4日 常任幹事会
- 25日 幹事会
- 3月11日 常任幹事会

- ◎ 8月10日 「三島の秋」発行
- ◎ 8月17日 三嶋大祭りパレード(中止)
- ◎ 11月25日 話芸の夕べ(柳家花縁)
- ◎ 12月下旬 会報「翡翠」30号発行
- ◎ 1月21日 新春のつどい(中止)

◎第59回三島市民芸術祭

《展示部門》 三島市民生涯学習センター

- 写真展 10月7日～10月10日
- いけばな展 10月7日～10月10日
- 美術展 10月14日～10月17日
- 書道展 10月21日～10月24日

《舞台部門》 三島市民文化会館

- 洋楽部門 10月31日
- 日本舞踊部門 11月6日
- 邦楽・吟詠詩舞部門 11月7日
- 芸能部門 11月14日



表紙

令和三年総会

☆コロナ禍で危惧された総会も役員総意の中で開催することができました。これからも周りの状況を把握しながら注意深く活動を続けていきます。

◆熱海伊豆山土砂災害義捐金について 七月三日の熱海市伊豆山地区において大規模な土石流災害が発生しました。谷地形の上流部、標高400m付近において盛土とその下部の土塊がえぐられるように崩壊し、罹災者は一五三名になりました。市文協では募金活動を行い三島市を通じて熱海市に義捐金を送りました。

◆やまがた楽器店火災について 十月三十一日未明もらい火による火災が発生、常任幹事達による募金を行いました。心よりお見舞い申し上げます。

編集スタッフ

編集委員

小池 泰雄(吟詠・詩舞部)

藤間伊世之(日本舞踊部)

稲葉 讓二(演劇部)

水口 栄子(演劇部)

加藤 哲夫(ギャラリー部)